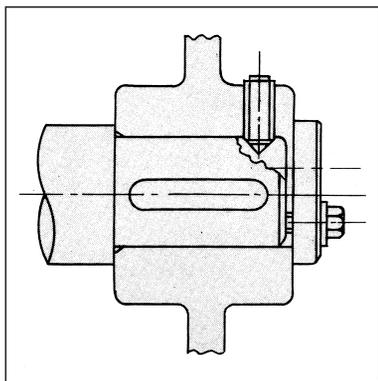


取付

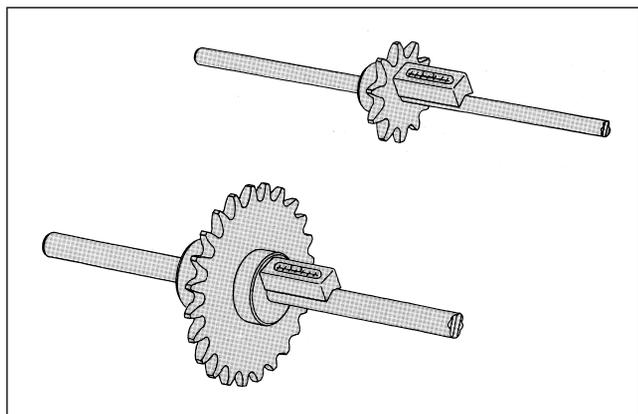
スプロケットの取付

ローラチェーンの伝動を円滑に行うためにも、また、ローラチェーンの寿命延長のためにも、適切なスプロケットを使用し、正しい取付けをすることが重要です。取付けにあたっては次の要領に従って下さい。

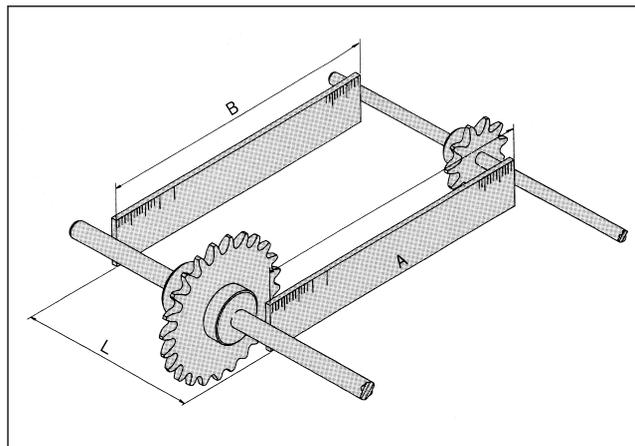
1. スプロケットは軸に正確に取付け、運転中にスプロケットと軸がガタつかないように、キーなどで軸に固定して下さい。なお、スプロケットはできるだけ軸受に近づけて取り付けるようにして下さい。



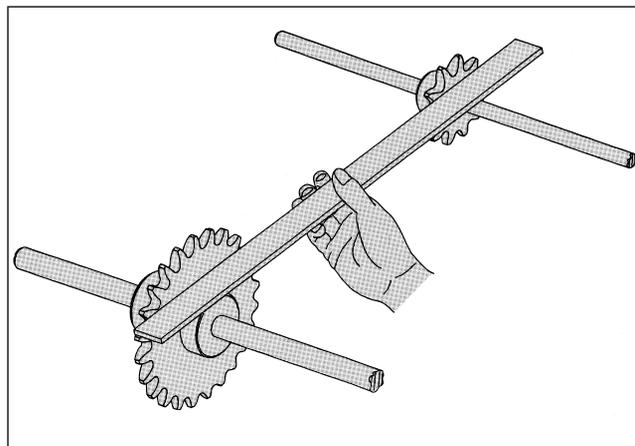
2. 水準器で軸の水平度を±1/300以内に調整して下さい。



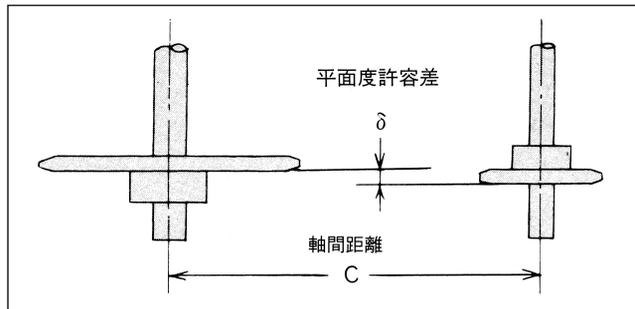
3. 軸の平行度($\frac{A-B}{L}$)を±1/300以内に調整して下さい。



4. 駆・従動スプロケットをストレートエッジ（直定規）などで同一平面に調整して下さい。（アイドラスプロケット、テンションスプロケットも同じです。）



なお、その許容差 δ は、下表の値以内におさめて下さい。



両スプロケット軸間距離 C	許容差 δ (mm)
1mまで	±1
1m~10m	±C (mm) / 1000
10m以上	±10

伝動用チェーン	一般
標準形ローラ	
高強度シリーズ	
耐摩耗シリーズ	
耐環境シリーズ	
静音シリーズ	
特定用途シリーズ	
関連商品	
スプロケット	
設計	
メンテナンス	

小形搬送用チェーン	一般
シングルピッチ	
ダブルピッチ	
その他	
技術資料	

DK汎用コンベヤチェーン	概説
汎用並形	
固着防止ローラ形	
ベアリングローラ形	
メガ・シール	
強力H・Z形	
ハイリンク	
サイドローラ	
トップローラ	

DK特定用途コンベヤチェーン	特殊搬送専用
特殊搬送専用	水処理専用
水処理専用	3次元屈曲
3次元屈曲	その他

写真集	スプロケット
実績写真集	特殊チェーン写真集
特殊チェーン写真集	スプロケット

技術資料	チェーンの選定
チェーンの選定	許容負荷
許容負荷	推奨仕様
推奨仕様	耐食性
耐食性	メンテナンス

伝動用チェーン
一般
標準形ローラ
高強度シリーズ
耐摩耗シリーズ
耐環境シリーズ
静音シリーズ
特定用途シリーズ
関連商品
スプロケット
設計
メンテナンス

小形搬送用チェーン
一般
シングルピッチ
ダブルピッチ
その他
技術資料

DK汎用コンベヤチェーン
概説
汎用並形
固着防止ローラ形
ベアリングローラ形
メガ・シール
強力H・Z形
ハイリンク
サイドローラ
トップローラ

DK特定用途コンベヤチェーン
特殊搬送専用
水処理専用
3次元屈曲
その他

写真集
スプロケット
実績写真集
特殊チェーン写真集
スプロケット

技術資料
チェーンの選定
許容負荷
推奨仕様
耐食性
メンテナンス

ローラチェーンの取付

スプロケットにローラチェーンを噛み合わせから継ぐ場合は、次の要領で行って下さい。継手リンクの塗布グリースが少ない場合、十分に塗布してから取付け下さい。特にピン表面、プッシュ内面には念入りに塗布して下さい。巻頭の「ご注意」も合わせてご参照下さい。

スプロケットの歯を利用する場合

1. 写真のように、どちらかのスプロケット上にチェーンの両端がくるように巻きつけます。
2. 継手ピンを継ぎ目に挿入します。
3. 継手プレートをはめ込み、クリップまたは割ピンでとめます。

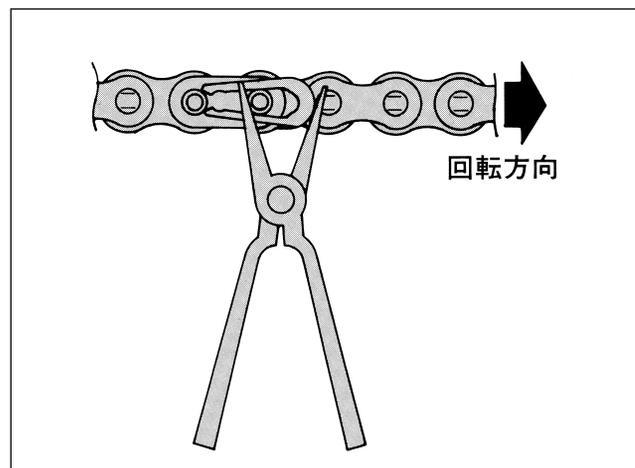


なお、この際スプロケットの歯先を損傷しないように十分注意を払う必要があります。

工具を利用する場合

注意事項

1. 継手プレートをクリップでとめる場合、クリップを継手ピンのピン溝に図のようにあてがい、プライヤーなどを用いロックして下さい。なお、クリップの挿入方向は図に示すようにその開き口が、チェーンの回転方向に対して反対になるように注意して下さい。



2. スプロケット軸間距離の調整がほとんどできない箇所ではやむを得ず奇数リンクを使用する場合があります。しかし、なるべく1リンク増して偶数リンクとし、余分なたるみはスプロケットをずらすか、アイドラーを入れて取り除いて下さい。
3. HJを使用する場合、シメシロがあるため継手プレートをピンに打ち込まなければなりません。この際、一對のピンを平行に継手プレートに挿入するよう注意して下さい。なお、継ぎ作業を容易にするために継手プレートの孔を大きくしたり、ピン径を細く削ることは絶対に避けて下さい。この点は、割ピン形外リンク (CP) を継手リンクのかわりとして用いる場合についても同様ですので、ご注意下さい。

汎用シールチェーンの継ぎ方について

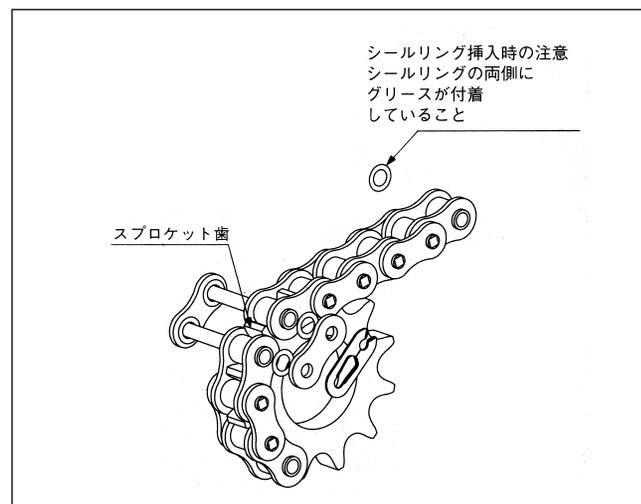
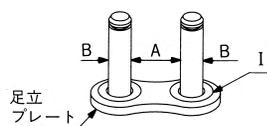
汎用シールチェーンを継ぐ場合、最も注意すべき点は以下の通りです。

1. 汎用シールチェーンの継手リンクは、予めグリースをピンに塗布してありますが、継ぐときにピン表面のグリースを確認し、少ないときは忘れずにグリースを素手で塗り込んで下さい。(手袋を使用するとグリースが手袋に付着吸収されてしまいます。)

(例) シールリング (I) はピン根元にはめて出荷されますが、輸送中の振動などで外れた場合は、再度シールリングをピン根元まで挿入して下さい。この時ピンの根元に掃き寄せられたグリースは必ずピン中央表面の上図A部分にB部分より多く戻して下さい。

(A側がブシュと摺動して摩擦する箇所であるためです。)

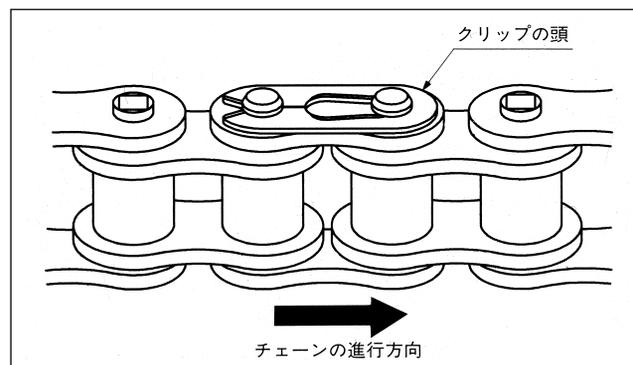
2. チェーンを継ぐ箇所はスプロケットの歯の所が最も容易です。スプロケットの歯にチェーン両端のリンクを噛み合せて継手ピンをはめて下さい。スプロケットが移動できる場合はチェーンのたるみ側でも継ぐことができます。



3. 継ぐ順序

- ①ピン根元にシールリングが付いているか確認します。
- ②継手ピンのグリースが少ないときはピン中央部分にグリースを塗布して下さい。
- ③両端の内リンクのブシュに継手ピンを挿入します。
- ④シールリング全面にグリースが付いていることを確認してから、継手ピンに挿入します。
- ⑤継手プレートを継手ピンに挿入します。このとき、継手プレートの刻印面が外側に向くようにして下さい。
- ⑥継手プレートを押さえながらクリップを装着します。このとき、クリップの頭(割れ目のない方)がチェーンの進行方向に向いているかどうか確認して下さい。またクリップの割れ目は勾配がついており、勾配が見えるように(チェーン外側へ向くように)装着しますと、作業がスムーズになります。(下図参照)
- ⑦クリップが確実に継手ピンのクリップ溝にはまっていることを必ず確認して下さい。

これで、継手リンクの連結は完了です。しかし、連結作業中に、継手ピン、シールリング表面のグリースがかなり取れてしまうこともあります。この場合、チェーン本体表面や、継手リンクが入っていたポリ袋内のグリースをご利用下さい。



伝動用チェーン
一般
標準形ローラ
高強度シリーズ
耐摩耗シリーズ
耐環境シリーズ
静音シリーズ
特定用途シリーズ
関連商品
スプロケット
設計
メンテナンス

小形搬送用チェーン
一般
シングルピッチ
ダブルピッチ
その他
技術資料

DK汎用コンベヤチェーン
概説
汎用並形
固着防止ローラ形
ベアリングローラ形
メガ・シール
強力H・Z形
ハイリンク
サイドローラ
トップローラ

DK特定用途コンベヤチェーン
特殊搬送専用
水処理専用
3次元屈曲
その他

写真集
スプロケット
実績写真集
特殊チェーン写真集
スプロケット

技術資料
チェーンの選定
許容負荷
推奨仕様
耐食性
メンテナンス